

今号の内容

- 歩くこと
- 脳低温療法について
- てんかんについて
- 薬剤部通信 アルツハイマー型認知症の新しい薬
- 部署紹介 4階5階病棟
- 新任医師紹介

「歩くこと」

副院長・脳神経内科主任部長 野村栄一



日本は世界有数の長寿国で、2009年の調査では平均寿命が男性79.6歳、女性86.4歳となっています。人間の寿命は、生物学的には120歳くらいまでのびる可能性があるそうですが、何歳まで生きたいかはともかく、「健康で長生き」というのが皆さんの共通した願いではないでしょうか。高齢の方に対して「矍鑠（かくしゃく）」としているという言葉をはめ言葉として使うことがあります。「かくしゃく」とした方とはどんなイメージでしょうか？いろいろあるとは思いますが「早く歩ける」というのもそのひとつかもしれません。ところで、普通に歩いてもらったときの速度が速い高齢者は、余命が長いことが最近の研究で判ってきました（あくまでその人にとっての

普通で歩いてもらった結果で、無理に早歩きした訳ではありません）。「早く歩ける」ことは「体が健康である」と強く結びついていて、それが長寿につながっているとおもわれます。「早く歩けないこと」の裏には脳血管障害やパーキンソン病など脳の病気が潜んでいる可能性もあります。「最近歩くのが遅くなった」と感じる方は一度脳ドックや人間ドックで自身の健康チェックを行った後、「健康で長生き」のためウォーキングを頑張りましょう。



脳低温療法について

脳神経外科 東森俊樹

少し前のこととなりますが、サッカーのオシム監督が脳梗塞になった際に使用された治療法と言えば思い出す方も多いでしょうか。

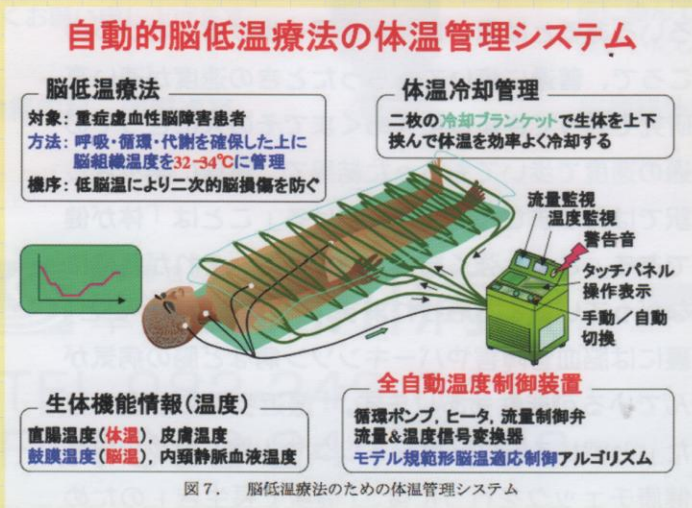
以前から、偶発的に発生した低体温症において、例えば冬季に溺水した子供が通常は蘇生できないほど長時間（一般には心肺機能停止から3～10分以内程度であるが、同事例では40分～3時間）水の中にいたにもかかわらず蘇生し回復した例が報告されていました。これに目を付けて、旧ソビエト連邦にて体を氷に埋めるなどして治療がなされましたが効果は限定的でした。

その後診断治療技術の発達とともに、脳温が1度低下すると脳血流量と平行して脳酸素消費量も6.7%ずつ減少することを利用して、患者の体温を31～33℃程度に下げることによって、代謝機能を低下させて、脳内での有害な反応の進行速度を抑え、組織障害の進行を抑制する治療として、日本においても1990年代の初めから脳低温療法がおこなわれるようになりました。医療における温故知新の一例とも言えるでしょう。体温を冷却するには、冷却用マットやヘルメットを使用することが主流となっています。現在のところ対象となっている患者さんは、心肺停止蘇生後、脳梗塞、脳出血（クモ膜下出血）、頭部外傷（交通事故など）、新生児仮死などの脳疾患です。受傷早期（多くは6時間以内）に開始することとされています。しかし、同療法による肺炎などの感染症の合併や循環機能の不安定さなどが認められることもあり、実際に対象となる患者さんは更に絞られて、どちらかという救命救急センターなどにて同療法に適していると判断された方に限定しておこなわれつつあります（当院でも現時点ではおこなっておりません）。

また、装置、電源、スペース、人力などの負担も多い療法です。この点では、状況を改善するために産学連携の動きもあり、低体温管理を自動的に行う装置の開発などがなされています。体温

のみではありますが、人体を制御する装置としての意義は大きく、内視鏡などのように世界をリードする医療分野の一つになることが期待されています。かなり話は飛躍しますが、冬眠などの研究と合わせて、将来の惑星間宇宙航海などで使用される日も来るかもしれません。

脳低温療法にまつわる話について述べさせていただきました。



てんかんについて

脳神経内科部長 大下智彦



最近、自動車運転に関する問題などで話題となっていますが、誤解されていることも多い病気です。てんかんについてQ&A形式で紹介します。

Q. てんかんとはどのような病気なの？

A. てんかんとは大脳の神経細胞が過剰に興奮することによって脳の症状（発作）をくり返し起こす慢性の脳の病気です。この“くり返す”ことが特徴です。

Q. てんかんはまれなこどもの病気なの？

A. 日本では、約100万人（人口の約0.8%）の患者さんがいるといわれ、まれではありません。3歳以下に発症することが多いですが、近年は65歳以上で発症する方も増えており、10歳以下での発症と頻度が変わらなくなっています。

Q. てんかんでは必ず“けいれん”がみられるの？

A. “けいれん”はてんかん発作の代表格ですが、てんかんは興奮する脳の部位に応じて様々な症状が起こります。たとえば、けいれんを伴わず意識がなくなるのみの方もいます。

Q. てんかんの治療は？

A. 治療は抗てんかん薬の内服が基本ですが、お薬が効きにくい方は、脳外科で手術を行う場合もあります。薬物・手術療法の進歩に伴い、70～80%の方はてんかん発作が抑制できるようになってきています。



薬剤部通信

アルツハイマー型認知症の新しい薬

薬剤部 米澤久美

認知症の治療はここ10年間で進歩しています。今までは、アセチルコリンエステラーゼ阻害薬であるアリセプト（ドネペジル塩酸塩）が標準治療とされてきました。「アリセプトを服用することで、治癒することはないが、進行を遅らせることが可能なのではないか」と言われてます。今年になり日本で新たに処方ができるようになったアルツハイマー型認知症治療薬を紹介します。

販売名	アリセプト		レミニール		イクセロバンパッチ	メマリー
剤型	錠、OD錠、ゼリー	細粒	錠、OD錠	内服液	テープ剤	錠
規格	3mg、5mg、10mg	5mg/g	4mg、8mg、12mg	4mg/mL	4.5mg、9mg、13.5mg、18mg	5mg、10mg、20mg
薬価(円)	286.5、427.5、764	404.8	119.6、213.8、271	107.3	7月頃薬価収載予定	133.9、239.2、427.5
一般名	ドネペジル塩酸塩		ガラントミン臭化水素酸塩		リバスチグミン	メマンチン塩酸塩
作用機序	アセチルコリンエステラーゼ阻害剤					N-メチル-D-アスパラギン酸受容体拮抗剤
			ニコチン性アセチルコリン受容体感受性亢進	ブチルコリンエステラーゼ阻害作用		
用法	1日1回 1回1錠		1日2回 1回1錠		1日1回 1回1枚	1日1回 1回1錠
維持量までの投与方法	初回投与量 3mg 2週間経過で維持量に増量		初回投与量 8mg/日 4週間経過維持量に増量		初回投与量 4.5mg 4週毎 4.5mgずつ増量	初回投与量 5mg 1週毎 5mgずつ増量
維持量	5mgまたは10mg		16mgまたは24mg		18mg	20mg
特徴	剤型の種類が多く、嚥下困難患者まで患者ニーズにより投与可能				唯一のテープ剤でのみ忘れ防止に有用	アセチルコリンエステラーゼ阻害薬と併用可

アルツハイマー型認知症の脳内では記憶の伝達機構に大きな役割もつアセチルコリンが減少しています。アセチルコリンエステラーゼ阻害薬はアセチルコリンの分解を阻害します。メマンチンはグルタミン酸の受容体に対して興奮を抑制し、記憶の減退や判断能力の低下の遅延効果を示すといわれています。



部署紹介

第8回



■ 4階5階病棟

看護師長 仲前真里

病院4階5階フロアは、脳神経内科の患者さんが多く入院されている病棟です。特に脳卒中の発症直後の患者さんを受け入れる病室（脳卒中ケアユニット）があり、入院患者さんも昼夜を問わず多い病棟です。脳卒中の治療看護は日々変化しています。最適な看護が提供できるよう、スタッフも日々学習し、患者さんの状態変化を早期に発見し、適切な治療につなげられるように、取り組んでいます。

病棟スタッフの長所はチームワークが良いこと、短所は業務が忙しくて時々笑顔を忘れてしまうことです。急な病気の発症で、患者さんご家族とも不安なことが多いと思います。そんな不安を軽減でき、梶川病院に入院して良かった、と思って頂けるよう笑顔を忘れず頑張っていきたいと思っています。



新任医師紹介



脳神経内科に赴任致しました河野通裕と申します。30年以上の長きにわたり脳卒中をはじめとする脳疾患治療に携わり広島を支えてきた梶川病院の一員として働けることは、自分にとっても大変光栄なことと存じます。若輩者ではありますが、広島の脳疾患治療の一助となるべく取り組む所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



脳神経内科 河野通裕

6月1日より、東京医科歯科大学 脳神経外科医局より赴任しました東森（とうもり）と申します。当院は急性期から慢性期まで幅広く頭部疾患を扱っており、手術件数も多く、チームの一員として治療に参加できますことを嬉しく思っております。

申し訳ないことに赴任早々に病気（骨折ですが）になりました。病気というものは長きにわたる先人達の研鑽の上で解明されている訳ですが、個々人においては初体験であることが多いため、見知った状態でも心配の多いことが身に染みしました。当たり前のことですが、忘れがちでもあるこの点を心に留めて、当院での診療に励んでいきます。よろしくお願ひいたします。



脳神経外科 東森俊樹

082-249-6411

医療法人 翠清会 梶川病院

TEL 082-249-6411
FAX 082-244-7190

〒730-0046 広島市中区昭和町 8-20

<http://www.suiseikai.jp>

